

未来を創る子どもたち

～つながり合い・学び合い・千代田愛～



千代田中学校だより 7月号

【桃のように】

6月末に台風7号、8号の相次ぐ接近のために臨時休校となり、期末テストの日程や部活動の予定を急きょ変更することになりました。保護者のみなさまには、急な変更にご対応いただきありがとうございました。

さて、7月に入りスーパーの店頭にはみずみずしい桃がよい香りを漂わせて並ぶ季節になりました。桃といえば、中国の古い言葉に「桃李不言下自成蹊（とうりものいわざれども、したおのずからみちをなす）」というものがあります。「桃やスモモは自分から言葉を発するわけではないけれど、美しい花を咲かせ、おいしい実をつけると、木の下に道ができるほど自然に人が集まってくる」という意味です。

また日本の古いお話にも、恐ろしい魔物から逃げるときに桃の実を投げつけて難を逃れたというエピソードがあります。昔から桃には悪いものを追い払う特別な力があると信じられていたようです。有名な昔話「桃太郎」が桃から生まれるのも、桃の不思議な力と関係があるのでしょう。

桃を甘く大きな実に育てるには、1つの実につき30～40枚の葉が必要です。私たちが注目するのは大きく実った桃の実ですが、そこまで育つには30～40枚の葉っぱがせつせと光合成をして養分を作っているからです。

河内長野市の特産品である桃ですが、こうしてみると生徒の成長に重なってきます。「桃李不言下自成蹊」のように、言葉で飾り立てなくても、誠実に地道に努力をして自分を磨き続け、自然とすてきな仲間が集まってくるような人になってほしい。そして、時に自分の中に去来する弱い心や意地悪な気持ちに投げつけて追い払う「心の桃」をもってほしい。さらに、自分が育つ間には、家族や地域の方々、先生など、本当にたくさんの人の支えがあるということも感じてくれたらうれしいなあと考えながら、直売所で買ってきた桃を美味しくいただきました。

夏休みまであと3週間、保護者や地域のみなさまには、時には成長を支える「桃の葉」の一枚となって、温かい見守りと声かけへのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

6 月の学校生活



2年生宿泊学習



3年生修学旅行



1年生校外学習

